



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年1月31日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
(URL <http://www.takara.co.jp/>)

(コード番号：2531 東証・大証一部)

代表者 役職名 取締役社長
問合せ先責任者 役職名 取締役IR室長

氏名 大宮 久
氏名 松崎 修一郎

TEL (075) 241-5124

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 法人税等の税金費用の計上については簡便法によっております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
(内容) 従来、営業外収益で処理していた従業員からの受取住宅使用料を売上原価並びに販売費及び一般管理費から控除する処理に変更しております。なお、セグメントに与える影響は、添付資料の8ページを御参照ください。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
(内容) (連結) 新規3社 (持分法) 除外1社

2. 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	154,819	2.2	8,897	12.6	9,003	12.2	4,567	△31.2
18年3月期第3四半期	151,489	△0.4	7,900	△7.2	8,024	△2.3	6,640	78.2
(参考) 18年3月期	196,119		5,924		5,931		5,320	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	21.10	—
18年3月期第3四半期	30.89	—
(参考) 18年3月期	24.39	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	220,712	114,873	46.3	472.18
18年3月期第3四半期	219,706	101,469	46.2	468.73
(参考) 18年3月期	212,466	101,839	47.9	470.10

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	2,975	△5,669	1,407	24,530
18年3月期第3四半期	△582	△10,667	1,003	21,525
(参考) 18年3月期	6,211	△12,687	344	25,701

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報〕

【第3四半期までの概況】

当第3四半期（平成18年4月1日～平成18年12月31日まで）の連結売上高は連結範囲の増加もあり154,819百万円（前年同期比102.2%）となりました。また連結営業利益は8,897百万円（前年同期比112.6%）、連結経常利益は9,003百万円（前年同期比112.2%）、連結四半期純利益につきましては投資有価証券売却益も発生いたしましたが、一方事業再編損失などもあり、多額の特別利益を計上した前年同期に比べ減少し4,567百万円（前年同期比68.8%）となりました。

事業の種類別セグメントの業績概要は以下のとおりです。

【酒類・食品部門】

酒類・食品部門においては、“全量芋焼酎「一刻者」（いっこもん）”を中心とする高付加価値焼酎の育成、「中食市場」の更なる開拓などに取り組んでおります。また、利益マネジメントの実践・強化、不断のコスト削減などにも引き続き取り組んでおります。

焼酎カテゴリーでは、「一刻者」を中心とする本格焼酎は好調に推移したものの、“宝焼酎「純」”などのニュータイプ焼酎が減少し、加えて飲用甲類などの甲類焼酎が減少いたしましたので前年同期比98.5%の60,969百万円となりました。

ソフトアルコール飲料カテゴリーでは、前年3月に新発売いたしました“TAKARA「焼酎ハイボール」”の寄与などもありましたが、“タカラc a nチューハイ「WMI X」”などの落ち込みが大きく、前年同期比95.5%の14,797百万円となりました。

清酒カテゴリーでは、国内の清酒市場全体が長期に低迷するなか、戦略商品であるソフトパック“松竹梅「天」”は好調に推移したものの、1.8L壺の減少が大きく、前年同期比97.5%の20,292百万円となりました。

調味料カテゴリーでは、「中食市場」の開拓を進め料理清酒などの酒類調味料が好調に推移いたしました結果、前年同期比101.9%の16,991百万円となりました。

飲料カテゴリーでは、機能性食品事業への転換を図るため、グループ内の事業を再編し、宝酒造株式会社の飲料製品の販売を段階的に縮小し平成18年12月をもって販売を中止いたしました。その結果、連結売上高は前年同期比67.8%の6,627百万円となりました。

原料用アルコール等につきましては、当期からの原料用アルコールの販売自由化を受け、積極的に新規取引先の開拓にも努めました結果、前年同期比161.4%の4,458百万円となりました。

その他では、新規に連結いたしました長崎運送株式会社の売上高1,397百万円が新たに加わり、前年同期比153.2%の4,955百万円となりました。

以上の結果、酒類・食品部門の外部売上高は前年同期比99.2%の137,095百万円となりました。また、営業損益におきましては、原材料高騰の影響はありましたもののコストダウン・コストカットに努め、販売促進費などの販売費及び一般管理費の減少がありました結果、前年同期比101.2%の9,456百万円となりました。

【バイオ部門】

バイオテクノロジーの研究開発活動を支援する製品やサービスを提供する遺伝子工学研究分野では、新製品・新技術開発競争の激化等の厳しい状況が続いているなか、主力製品である研究用試薬の売上は前期に買収したClontech Laboratories, Inc.（以下、クロンテック社）の連結効果もあり前年同期を大きく上回ることであり、また、理化学機器も対前年同期比で増加いたしましたので当分野の外部売上高は前年同期を大きく上回りました。また、遺伝子医療分野につきましても増収となりました。医食品バイオ分野におきましてはキノコ関連製品が増収となりましたが、グループ内の事業再編により平成18年10月以降、機能性食品の販売をバイオ部門からその他の部門へ移行したため、当分野の外部売上高は減少となりました。

以上の結果、当部門の外部売上高は前年同期比135.1%の14,542百万円となりました。

利益面では、クロンテック社連結による売上増加に伴う売上総利益の増加により、販売費及び一般管理費の増加を吸収し、営業損益は415百万円の損失（前年同期は1,262百万円の損失）となりました。

【その他の部門】

その他の部門の外部売上高は印刷事業で1,929百万円、不動産賃貸事業で284百万円、事業再編により新設した宝ヘルスケア株式会社が営む機能性食品事業で206百万円など合計3,181百万円（前年同期比126.4%）となり、営業利益は471百万円（前年同期比102.1%）となりました。

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期末の総資産は前年同期比1,005百万円増加し220,712百万円となりました。長崎運送株式会社など連結子会社の増加がその主な要因であります。

負債におきましては、前連結会計年度末より引当計上することとした販売促進引当金による増加などもありまし

たが、新株予約権付社債の転換に伴う減少などもありましたので、前年同期比 1,628 百万円減少し 105,838 百万円となりました。

少数株主持分を加えた純資産は利益剰余金の増加などもあり 114,873 百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は 46.3%となりました。

当第 3 四半期までの営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 8,560 百万円、減価償却費 4,256 百万円、季節要因による売上債権の増加(△) 12,653 百万円、および年末休日による未払酒税の増加 4,698 百万円などにより 2,975 百万円の収入となりました。前年同期に比べ、期首からの売上債権の増加額が少なかったこともあり、営業活動によるキャッシュ・フローは 3,557 百万円増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得による支出 2,275 百万円、投資有価証券の取得による支出 3,553 百万円などがありましたものの、クロンテック社の取得のあった前年同期に比べ 4,998 百万円支出が減少し、5,669 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの発行による収入 3,000 百万円、配当金の支払による支出 1,948 百万円などにより前年同期に比べ 404 百万円増加の 1,407 百万円の収入となりました。

以上の結果、当第 3 四半期末の現金及び現金同等物期末残高は 24,530 百万円となり、前年同期に比べて 3,004 百万円増加いたしました。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当社グループは、売上高及び利益水準の通期に占める第 3 四半期の比率が高いという特性があります。現時点で売上高、経常利益、当期純利益の業績予想につきましては平成 18 年 11 月 14 日に公表いたしました予想に変更はありません。

(添付資料)

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

区 分	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		(参考) 前連結事業年度 (平成18年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%		%
I 流動資産						
現金及び預金	18,612		20,051		22,703	
受取手形及び売掛金	65,189		65,992		51,630	
有 価 証 券	6,625		2,877		4,370	
たな卸資産	25,202		25,202		25,188	
その他の	4,834		4,060		4,792	
貸倒引当金	△165		△121		△116	
流動資産合計	120,299	54.5	118,063	53.7	108,569	51.1
II 固定資産						
有形固定資産	50,393		52,720		52,046	
無形固定資産	6,302		6,028		6,516	
投資その他の資産	43,716		42,893		45,333	
固定資産合計	100,412	45.5	101,642	46.3	103,896	48.9
資 産 合 計	220,712	100.0	219,706	100.0	212,466	100.0
(負 債 の 部)						
I 流動負債						
支払手形及び買掛金	15,280		17,182		15,928	
短期借入金	4,905		4,820		4,794	
1年以内に償還予定の社債	5,000		—		—	
コマーシャル・ペーパー	2,996		—		—	
未払酒税	13,553		14,173		8,852	
未払費用	6,551		5,124		4,872	
賞与引当金	1,074		1,091		2,004	
販売促進引当金	1,765		—		1,496	
その他の	8,350		10,240		7,656	
流動負債合計	59,477	27.0	52,632	23.9	45,605	21.5

(百万円未満切捨)

区 分	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		(参考) 前連結事業年度 (平成18年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
II 固定負債		%		%		%
社 債	15,000		20,000		20,000	
新株予約権社債	—		2,200		—	
長期借入金	5,770		6,382		5,590	
退職給付引当金	8,810		7,868		8,141	
役員退職慰労引当金	—		704		729	
預り金	7,437		7,605		7,581	
その他	9,342		10,074		10,685	
固定負債合計	46,360	21.0	54,834	25.0	52,728	24.8
負債合計	105,838	48.0	107,466	48.9	98,333	46.3
(少数株主持分)						
少数株主持分	—	—	10,770	4.9	12,293	5.8
(資本の部)						
I 資本金	—	—	13,226	6.0	13,226	6.2
II 資本剰余金	—	—	3,205	1.5	3,205	1.5
III 利益剰余金	—	—	73,446	33.4	72,113	33.9
IV その他有価証券評価差額金	—	—	12,844	5.8	13,902	6.5
V 為替換算調整勘定	—	—	△312	△0.1	321	0.2
VI 自己株式	—	—	△941	△0.4	△930	△0.4
資本合計	—	—	101,469	46.2	101,839	47.9
負債、少数株主持分及び資本合計	—	—	219,706	100.0	212,466	100.0
(純資産の部)						
I 株主資本						
資 本 金	13,226		—		—	
資 本 剰 余 金	3,205		—		—	
利 益 剰 余 金	74,667		—		—	
自 己 株 式	△960		—		—	
株主資本合計	90,138	40.8	—	—	—	—
II 評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	11,367		—		—	
繰延ヘッジ損益	△2		—		—	
為替換算調整勘定	702		—		—	
評価・換算差額等合計	12,068	5.5	—	—	—	—
III 少数株主持分	12,666	5.7	—	—	—	—
純資産合計	114,873	52.0	—	—	—	—
負債純資産合計	220,712	100.0	—	—	—	—

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

区 分	当四半期 (平成19年3月期第3四半期)		前年同四半期 (平成18年3月期第3四半期)		(参考) 前連結事業年度 平成18年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
I 売 上 高	154,819	100.0	151,489	100.0	196,119	100.0
II 売 上 原 価	94,477	61.0	92,024	60.7	120,132	61.3
III 売 上 総 利 益	60,341	39.0	59,464	39.3	75,986	38.7
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	51,444	33.3	51,563	34.1	70,062	35.7
IV 営 業 利 益	8,897	5.7	7,900	5.2	5,924	3.0
IV 営 業 外 収 益	807	0.5	842	0.6	1,176	0.6
V 営 業 外 費 用	701	0.4	718	0.5	1,169	0.6
VI 経 常 利 益	9,003	5.8	8,024	5.3	5,931	3.0
VI 特 別 利 益	969	0.6	4,290	2.8	5,231	2.7
VII 特 別 損 失	1,412	0.9	1,228	0.8	3,287	1.7
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,560	5.5	11,086	7.3	7,876	4.0
税 金 費 用	4,084	2.6	4,633	3.0	2,811	1.4
少 数 株 主 損 失	90	0.1	187	0.1	256	0.1
四半期(当期)純利益	4,567	3.0	6,640	4.4	5,320	2.7

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	(参考) 前連結事業年度 平成18年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,560	11,086	7,876
減価償却費	4,256	4,298	5,910
固定資産売却益	△14	△1,605	△1,609
持分変動利益	△165	△2,583	△3,564
売上債権の増減額(増加:△)	△12,653	△15,023	△555
たな卸資産の増減額(増加:△)	263	45	△24
仕入債務の増減額(減少:△)	△992	832	△462
未払酒税の増減額(減少:△)	4,698	4,593	△727
その他の	2,061	1,687	4,296
小 計	6,015	3,331	11,139
法人税等の支払額	△3,070	△3,882	△4,765
その他の	30	△31	△163
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,975	△582	6,211
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の取得による支出	△2,275	△4,103	△5,823
有形固定資産の売却による収入	176	1,729	1,801
投資有価証券の取得による支出	△3,553	△442	△443
連結範囲の変更を伴う子会社株式・出資金の取得等による支出	△574	△6,920	△7,126
その他の	557	△930	△1,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,669	△10,667	△12,687
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入れによる収入	150	5,000	5,000
社債の償還による支出	—	△5,000	△5,000
新株予約権付社債の発行による収入	—	4,993	4,993
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	3,000	8,000	11,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	—	△8,000	△11,000
少数株主に対する株式の発行による収入	357	420	620
配当金の支払額	△1,948	△1,624	△1,626
自己株式の取得による支出	△32	△2,482	△2,490
その他の	△119	△304	△1,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,407	1,003	344
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	50	172	232
V 現金及び現金同等物の増加額(減少額:△)	△1,236	△10,074	△5,898
VI 現金及び現金同等物の期首残高	25,701	28,151	28,151
VII 新規連結による現金及び現金同等物の増加高	64	—	—
VIII 株式交換による現金及び現金同等物の増加高	—	3,448	3,448
IX 現金及び現金同等物の期末残高	24,530	21,525	25,701

4. セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

(百万円未満切捨)

	当第3四半期 (自平成18年4月1日至平成18年12月31日)					
	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	137,095	14,542	3,181	154,819	—	154,819
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	287	328	4,652	5,268	(5,268)	—
計	137,382	14,870	7,834	160,087	(5,268)	154,819
営業費用	127,925	15,285	7,363	150,574	(4,653)	145,921
営業利益又は営業損失(△)	9,456	△415	471	9,512	(614)	8,897

	前第3四半期 (自平成17年4月1日至平成17年12月31日)					
	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	138,205	10,765	2,518	151,489	—	151,489
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	345	8	6,018	6,372	(6,372)	—
計	138,551	10,773	8,536	157,861	(6,372)	151,489
営業費用	129,206	12,036	8,075	149,317	(5,728)	143,588
営業利益又は営業損失(△)	9,345	△1,262	461	8,544	(643)	7,900

	前連結会計年度 (自平成17年4月1日至平成18年3月31日)					
	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	176,107	16,490	3,520	196,119	—	196,119
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	518	43	8,455	9,017	(9,017)	—
計	176,626	16,534	11,975	205,136	(9,017)	196,119
営業費用	169,020	18,010	11,282	198,313	(8,118)	190,194
営業利益又は営業損失(△)	7,605	△1,476	693	6,823	(898)	5,924

(注)①事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質に加え販売市場の類似性などを考慮して、酒類・食品、バイオ及びその他の3事業に区分しております。

②各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類・食品	焼酎、ソフトアルコール飲料、清酒、ワイン、ウイスキー、中国酒、本みりん、食品調味料、原料用アルコール、果実飲料、健康飲料、乳飲料、ビアテイストドリンク
バイオ	試薬(遺伝子工学用、蛋白質工学用、細胞工学用、糖生物工学用)、理化学機器、研究受託サービス、医療機器、キノコ、しめじ生産技術指導、明日葉、バイオ医食品
その他	ラベル、ポスター、カタログ、カートン、段ボールケース、包装紙、販促用品、不動産賃貸、機能的食品

③営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の当第3四半期の金額は737百万円であり、これは持株会社である連結財務諸表提出会社で発生したものであります。

前第3四半期及び前連結会計年度のその金額は、それぞれ723百万円及び983百万円であります。

④会計処理の方法の変更

当期より受取宅使用料の会計処理方法を変更しておりますが、この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期の営業費用は、酒類・食品事業で112百万円減少し、営業利益が同額増加しております。なお、酒類・食品事業以外の事業の営業損益に与える影響は軽微であります。

2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)、前第3四半期(自平成17年4月1日至平成17年12月31日)及び前連結会計年度(自平成17年4月1日至平成18年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

3. 海外売上高

当第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）、前第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）及び前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載は省略しております。

5. 販売の状況

販売実績

当第3四半期における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント		当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	前第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	前年同期比
品 種		金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
酒	類 ・ 食 品			
	焼 酎	60,969	61,911	98.5
	ソフトアルコール飲料	14,797	15,490	95.5
	清 酒	20,292	20,806	97.5
	そ の 他 酒 類	8,001	7,549	106.0
	酒 類 計	104,060	105,757	98.4
	本 み り ん	12,966	12,937	100.2
	そ の 他 調 味 料	4,025	3,740	107.6
	調 味 料 計	16,991	16,677	101.9
	飲 料	6,627	9,773	67.8
	原料用アルコール等	4,458	2,761	161.4
	そ の 他	4,955	3,235	153.2
	計	137,095	138,205	99.2
バ	イ オ	14,542	10,765	135.1
そ	の 他	3,181	2,518	126.4
合	計	154,819	151,489	102.2

(注) 1. セグメント間の内部売上高は除いて記載しております。

2. 金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。